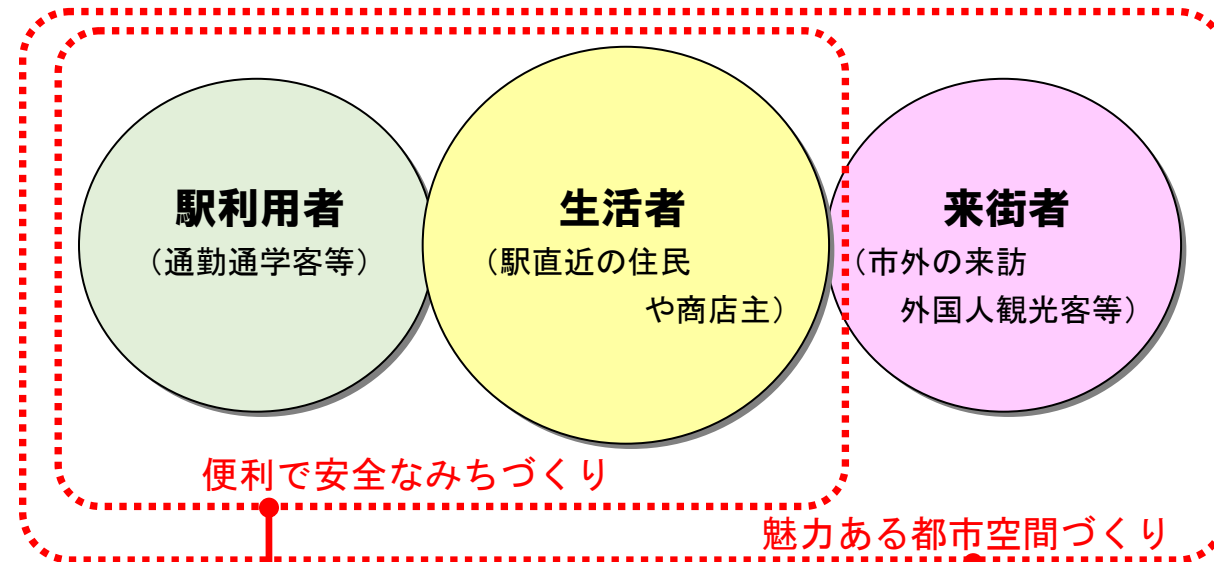


3. 検討にあたっての重要な視点（検討課題図）

●駅周辺の整備に際しては、『**みち・まちづくりの視点**』で、生活者を重視したうえで、駅利用者や来街者など多様な方々にとって、便利で安全なみちづくりを図るとともに、**魅力ある都市空間づくり**によって、整備の波及効果を高めます。

北信太駅周辺整備検討にあたっての重要な視点

『**みち・まちづくりの視点**』：利害関係が異なる方々について、まずは生活者の視点を重視し、道路整備を契機としたまちづくりを推進します。



検討課題①：駅前広場の周辺道路の歩行者優先化・規制

⇒駅前広場の周辺道路の歩行者優先化をどうすれば、利便性と環境保全を両立できるか？

■駅前広場への道路取り付けの形態、一方通行規制の区間や方向についての検討が必要



第2回検討部会で検討予定

検討課題②：地域資源の活用による地域活性化

⇒駅前整備に付加価値を生むハード（景観整備）とソフト（賑わい創出）をどうするか？

■駅前広場や駅前線の景観整備の方向性や、古墳のオープンスペース化や利活用策について検討が必要



第3回検討部会で検討予定

北信太駅周辺整備の検討課題図

